

2019年度12月19日 理事会議事録

1日時：2019年12月19日(木)19:00～21:38

2場所：神奈川県作業療法士会事務局

3参加理事：錠内、木村、金山、吉本、佐々木、奥原、神保、遠藤、野本、神田、佐藤範  
戸塚、澤口、佐藤良、西川、大郷（16名）

欠席理事：野々垣、玖島（2名）

出席監事：田中、鶴見（2名）

4議事録署名人：錠内会長、神田理事、鶴見監事

5議決事項（議事の経過概要及び議決結果）

（1）三役

1）組織改編について

11月の会議で組織改編案を現行の組織を再編成する形で提案した。理事の横断的な関わりを増やすことが目的。2020年度の総会までに暫定組織図の検討を行い、2023年度に新しい組織図を検討していきたいと会長より説明がある。その後、新しい組織図や方向性について質疑応答が行われた。

澤口：中間監査あたりで理事の関わりが実際どうなっているか振り返りをしてはどうか。

戸塚：やってみないとわからないが横のつながりがあることで意見交換しやすくなるのではないか。

佐藤範：1年かけて検討していければよいのでは。

奥原：横断的に関わるとはとっても限定的な関わりになってしまう。提案では現在ない委員会もあるので人をたてる必要がある。

会長：県士会員に多く参加してほしい。

大郷：理事の役割が不明確では。

佐藤良：事業計画も決まった中で、加えて会議に出るのは難しいので、オブザーバーとして参加するのはどうか。

戸塚：オブザーバーとしてすでに学術部理事と教育部理事に参加してもらったことで心強かった。

⇒1月に再検討となる。

（2）事務局

1）審議事項

（ア）後援依頼

ア）交通事故被害者支援神奈川県講習会

例年後援。今年度は同一内容の研修会を横浜と相模原の2か所で実施予定。

2020年4月18日(土)・11月4日(土)⇒承認

(2) 神奈川県 市町村介護予防事業担当職員等研修会の開催について

2020年1月17日(金) 13:30~16:45 産業貿易センター 3名まで参加可能

⇒参加希望者は事務局まで連絡

(3) 休会希望者 7名 ⇒承認

## 2) 報告

(ア) OT協会

ア) 第3回47委員会 2020年2月1日~2月2日 野々垣副会長参加予定

(イ) 行政

ア) 神奈川県 かながわレッドリボン賞の推薦依頼→福利部へ依頼

イ) 神奈川県 「世界エイズデー」ポスター

ウ) 茅ヶ崎市地域ケア個別会議 助言者派遣について

2019年11月26日(火) 茅ヶ崎新北陵病院 遠藤毅氏

2019年12月13日(金) 横浜YMCA学院専門学校 遠藤理事

(ウ) 関係団体

ア) 日本医療マネジメント学会後援 12月17日MLにて承認

イ) 賀詞交換会

(あ) 県病院協会 2020年1月15日会長 (い) 栄養士会 2020年1月/24日金山 (う)

看護協会 2020年1月23日理事会のため欠席予定 (え) 放射線技師会 2020年1月  
17日野々垣 (お) 臨床心理士検査技師会 2020年1月10日会長

ウ) 神奈川県医師会県民集会 2019年12月17日(水) 今後も医療保障が続くよう決  
意表明された。会長・遠藤理事・大郷理事・西川理事・佐藤範理事・名古屋氏・金  
山が参加。

エ) 公益財団法人テクノエイド協会 シーズ・ニーズマッチング交流会周知依頼

2020年2月12日~13日TOC有明コンベンションホール

オ) 神奈川新聞社報道部 編集委員・熊谷和夫氏より厚木支局移動

カ) 日刊工業新聞 介護ロボット神奈川フォーラム(12月13日)にて会長講演

(エ) 県士会内報告

ア) 11月末の会員数 入会合計208名 新賛助会員1名 退会合計35名

総合計2341名

イ) 各士会の被害対応について 現在調査中。

## (3) 財務部

### 1) 重点課題

(ア) 2020年予算について

運営準備金は11月の理事会では底をつく予想だったが免れた。しかし、厳しい  
運営状況になることはかわらないため、収入をあげていく検討が必要。

⇒予算案は承認

2) 審議事項 なし

3) 報告事項 なし

(4) 学術部

1) 重点課題 なし

2) 審議課題 なし

3) 報告事項

(ア) スキルアップ研修会

ア) OBP2.0 と CAOD の実践について～作業に根ざした実践理論と作業機能障害の種類と評価～

2020年1月12日 イムス横浜国際看護専門学校

講師：寺岡睦氏（作業療法士・吉備国際大学）

参加予定数：80名

イ) 統合失調症薬物治療ガイドラインを学び心理社会的介入に活かす

2020年1月11日 川崎教育文化会館 第7会議室

講師：橋本亮太氏（医師・国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所）

参加予定数：50名

カ) 作業療法士ができる身体障害者へのハンドリング

2020年2月2日 イムス横浜国際看護専門学校

講師：坂本安令氏（作業療法士・横浜市立大学附属市民総合医療センター）

参加予定数：50名

(イ) 学術誌刊行班

現在の投稿論文状況。投稿数9本（1本は前年度投稿）。査読状況アクセプト2本、修正再査読中3本、リジェクト1本、編集部チェック中または再投稿待ち3本。その他、論文執筆支援1本、今月中に実践ノート3本が投稿される予定。

(5) 教育部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告事項

(ア) 研修会報告

ア) 第1回臨床実習指導者講習会

2019年11月30日～12月1日 国際医療福祉大学小田原保健医療学部

参加者94名；PT10名含む（6名欠席、代替参加不可） 世話人（講師）10名

⇒2021年度以降は運営について士会にゆだねられる部分も多くなるため会費も検討する。

イ) 現職者共通研修 2019年12月15日 ウィリング横浜

作業療法における協業・後輩育成 参加者69人

保健・医療・福祉と地域支援 参加者74人

実践のための作業療法研究 参加者75人 合計218人

(イ) OT協会教育部生涯教育委員会生涯教育制度推進班 会議報告

(あ) 会員システムへの移行に関して

来年度から稼働するため、手帳やポイントシールがなくなる。それに伴い、協会・士会主催の全ての研修会でのバーコード入力完全実施となる。

バーコード入力に関して：学会や各研修会に教育部にて部員を派遣して実施。

できない場合には参加者名簿を教育部に送り、権限のあるものが登録する。受付の場所、参加者名簿の提出等への協力が必要となる。詳細は来年度改めて周知。

移行手続き：各会員は来年度いっぱいかけて実施する。

(6) 広報部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項

(ア) 部員の承認

矢野智恵美氏（えびな脳神経外科病院） 対外広報 ⇒承認

3) 報告事項

(ア) ニュース班

ア) 2月号を編集中

イ) 予算について

年3回紙面で送付、年3回PDFでデジタル配信またはHP閲覧とする。PDFにすることで1回40万程度の削減になる予定。

ウ) MTDLPの連載について

担当の木村副会長と相談し終了予定。必要に応じて単発での掲載を行う。

エ) 現在の連載について

公益法人化（澤口理事・継続連載）、エリア化（大郷理事・不定期連載）、自動車運転に関すること（ニュース班）で企画中。

(イ) 対外広報班

ア) 神奈川県介護支援専門員研究大会（川崎市）2月15日ブース出展

イ) 神奈川県リハビリテーションフォーラム（横浜市）2月22日ブース出展

ウ) 相模原さくらまつり（相模原市）4月4・5日 出展準備

(7) 福利部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告事項

1) 求人関連について(11/21～12/16)

新規掲載：12件、変更依頼：2件

(8) 地域リハビリテーション部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

3) 報告事項

(ア) 研修会報告

地域リハ人材育成研修会（地域ケア会議編）

2019年11月10日 ウィリング横浜 参加者30名（他職種5名）

(イ) 研修会企画

ア) 特別支援教育など講習会

2019年1月19日 横浜 YMCA 学院専門学校

イ) 難病リハビリテーション講習会 2019

2019年2月9日 横浜 YMCA 学院専門学校

ウ) 地域リハ人材育成研修会（地域事業編）

2019年3月15日 横浜 YMCA 学院専門学校

(ウ) 神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会の報告

ア) 訪問リハビリテーション学術集会

2020年1月18日開催

イ) 介護予防普及展開事業アドバイザー

2020年1月17日に市町村の報告会の予定。遠藤理事がアドバイザーとして参加予定。

ウ) 藤沢市地域ケア会議のリハ専門職派遣、参加依頼

各地区2回終了済。今後も各地区1回実施予定。

エ) リハビリ手帳（理学療法士会から協力依頼）

2019年12月23日会議予定。今後当士会の積極的な介入を望んでいる様子。確認予定。

オ) 神奈川県主催 研修会協力（PT 士会受託、OT 士会・ST 士会協力）

連年通り事業協力の OT 士会窓口で PT 士会から遠藤理事へ依頼があり受託する。

(あ) 介護予防のための地域ケア個別会議 現職者育成研修会

2019年12月15日 神奈川県総合医療会館 参加者40名（2名 OT）

(い) 介護予防従事者研修会

2020年2月1日～2日 神奈川県総合医療会館

(う) 建築士会から研修会協力依頼

「専門職連携 住宅改修ワークショップ」をテーマにワークショップ開催。3月14日 木村副会長が講師予定。

(9) 制度対策部

1) 重点課題 なし

2) 審議事項

(ア) 台風19号被災会員に対する会費減免などの対応の検討について

現時点で当士会には規定がない。今回及び今後、対応するか否かについて検討することについて意見交換を行う。対応する場合、次回の総会にて成立を目指したい。

神田：金銭的な対応が必要では。協会も行っているので検討する価値があるのでは

ないか。

野々垣：協会は会費をとらないのに士会はとるのかという視点もある。会費収入が大幅に減った場合どうするのかだけでも決めておきたい。

奥原：理事会で検討していてもよいのでは。

大郷：PT士会はブロック単位で安否確認をしているとのこと。

野々垣：会員と県士会運営が困らないような対応を行いたい。

会長：例えばだれが判断するのかということも明文化してはどうか。

田中：災害対策本部を作るかということも明文化しては。

⇒制度対策部で案を作成し、継続審議となる。

### 3) 報告事項

#### (ア) 福祉用具班

##### ア) OT 協会生活行為工夫モデル事業について

さらなる協力をお願いしたい。

#### (イ) 災害対策班

台風 19 号に伴い、会長判断による安否確認システムを 10/15 から稼働しているが先月と動きなし。

#### (ウ) 自動車運転班

ブログを開始した。

## (10) 規約委委員会

### 1) 重点課題

#### (ア) 会員規程について

活動の維持、活動の拡大に向けて賛助会員を増加させていく必要がある。そのため、賛助会員の特典についての資料を提示し、意見交換を実施した。

澤口：今いる会員も続けられるように研修会参加の可否なども検討してはどうか。

佐々木：学術誌への投稿依頼もあるためこの点も考慮してはどうか。

神田：正会員の会費 7,000 円でどこまで続けられるのか。会費のアップも検討してもよいのでは。

吉本：だいたい会費収入だけで 1,700 万程度。例えば会費を 2,000 円アップすると 2,400 万になる。7,000 円で妥当かどうかは検討の必要がある。

澤口：団体と個人は分けた方がよいのでは。企業は企業向けの特典の検討を。

⇒1 月の理事会で継続審議。会費も再検討する。

### 2) 審議事項

#### (ア) 謝金規程について

現在の規程では支払先が曖昧になっている。また、講師謝金についての柔軟性に乏しく、予算内での業務遂行に支障をきたす可能性がある。別紙の謝金規程改変案をもとに意見交換を行った。また当事者への謝金・交通費について検討した。

奥原：当事者は一般技能者にならないのか。

吉本：謝金を交通費に含めてしまうと税金がかかるので交通費とした方がよいのではないか。ただし、今の規定では公共交通機関と書いてあるため介護タクシー

は対象外になってしまう。

⇒交通費について規約を変更し、介護タクシーなど特別な場合は理事会で審議する。

⇒メールで配信し確認後1月の理事会で承認をとりたい。

### 3) 報告事項

#### (ア) 所在不明会員について

現在の定款・規程の中では連絡が取れない会員を退会させるための文言が入っていない。退会はトラブルのリスクもあるため、専門家に相談する必要があるとの結論に至った。個人情報保護規程を依頼する専門家に相談する方針。

#### (イ) 理事のメール審議について

現在定款内でメール審議の規程がない。他法人においてもメールでの審議について記載されている定款は確認できず、専門家に相談をする必要があるとの結論に至った。個人情報保護規程を依頼する専門家に相談する方針。

#### (ウ) 個人情報保護規程

##### ア) 背景

日本国において、情報化の急速な進展に伴い、個人の権利・利益の侵害が高まったことにより、個人情報保護法が2003年に公布された。2017年には同法の大幅な改定があり、適応範囲の拡大や個人情報の定義の明確化が図られている。また、近年は一般企業においても個人情報の取り扱い不備に伴う事故により、社会的信用が損なわれる事例が散見されている。

##### イ) 経緯

現在、当会の規程は改定に対応したものになっていない。日本作業療法士協会に問い合わせたが、まだ対応していないとのこと。個人情報保護法は複雑であり、専門家への依頼が必要との結論になったが、改定より長く時間が経過しており、早急な対応が必要だと考えられる。

##### ウ) 今後の動き

専門家と関係ができることで、他の定款や規程の相談もできるようになることも利点として考えられる。事務局と連携し、司法書士みかど事務所に¥50,000にて依頼することとなった。

### (1 1) ウェブサイト管理委員会

1) 重点課題 なし

2) 審議事項 なし

#### 3) 報告事項

##### (ア) 制度対策部との連携について

自動車運転班と連携し、ブログ「カナドラ」を開設。ウェブサイト表示済み。

##### (イ) 新コンテンツについて

来年度ウェブサイト内に作業療法啓蒙に関する新コンテンツを検討中。作業療法を分かりやすく伝えるために絵本を仮に作成するなど内容を検討している。今後絵本などにした際の著作権等の取扱いについて相談を進めていく予定。

##### (ウ) ウェブサイト内の情報に関して

ウェブサイト内で発信している情報についての取り扱いについて再度内容を確認し、周知していく。

(1 2) 学会評議委員会

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議事項 なし
- 3) 報告事項

(ア) 第 4 回神奈川県臨床作業療法大会 第 2 回実行委員会

2019 年 11 月 12 日開催済み。審議事項は以下の通り。

各委員会の仕事の内容・担当割り振り・大枠のスケジュール→決定

予算の内訳→現在調整中

会場の下見→2019 年 12 月 3 日 関内新井ホールにて実施

マニュアル作成→各委員会に学会評議の部員を配置し、実施予定

(イ) 第 18 回神奈川県作業療法学会

大会長の選出→再調整中

マニュアル作成→第 15～17 回学会の資料をもとに、作成予定

(1 3) 公益法人化対策委員会

- 1) 重点課題 なし
- 2) 審議事項

(ア) 公益事業の提案

助成金をもらって運営するモデルとなるよう企画を検討。内容は精神領域の映画上映。助成金申請に関するルールがないため、意見交換を行った。

澤口：理事会承認は必要と考えている。学会・臨床大会も助成金を利用してもよいのではないかと。

大郷：助成金は締め切りがあるので、助成金を使用しての企画は次の段階とし、まずは小規模でパイロット的に実施してはどうか。

野本：以前当士会で行っていた OT 体験デイはほとんど関係者だった。市民を呼ぶのは大変ではないかと。

⇒企画案を再検討。助成金の申請先候補が決まったら理事会でシェアする。

- 3) 報告事項 なし

(1 4) 地域包括ケアシステム推進委員会

- (ア) 重点課題 なし
- (イ) 審議事項 なし
- (ウ) 報告事項

ア) 委員会主催の研修会

(あ) 2019 地域包括ケア OT 特別セミナー～地域に飛び出せ作業療法士たち！～

2019 年 12 月 1 日(日) 14:00～17:00 かながわ労働プラザ

講師；鎌田大啓氏(株式会社 TRAPE)、大郷和成氏 (遊びりパーク lino'a)



参加者：27名+委員2名

(い) ウェブミーティング

2020年1月に実施予定 内容：今年度事業の振り返り、来年度事業について

#### 6 渉外報告

(1) 介護予防のための地域ケア個別会議 11/21 吉本理事、黒木氏参加

#### 7 次回予定

(1) 三役会 1月7日(火) 19:00～

(2) 次回理事会 1月23日(木) 19:00～

|        |     |       |   |
|--------|-----|-------|---|
| 議事録署名人 | 議長： | 錠内 広之 | 印 |
|        | 理事： | 神田 崇央 | 印 |
|        | 監事： | 鶴見 隆彦 | 印 |